令和3年度 社会福祉法人有隣会事業計画

広く地域の人に信頼される施設(法人)を目指します。

1. 理事会及び評議員会の開催

(1) 理事会

年 月 日	回 数	内 容	備	考
令和3年5月中旬	第1回通常理事会	令和2年度決算報告承認•事業報告決議		
		次期評議員選任解任委員選任		
		次期理事・監事候補者の選定		
		次期評議員候補者(案)の承認		
令和3年6月中旬	第2回臨時理事会	理事長選任、業務執行理事(常務理事)		
		選任(互選)		
令和3年12月上旬	第3回通常理事会	令和 3 年度補正予算案		
令和4年3月上旬	第4回通常理事会	令和4年度予算案・事業計画決議		

(2) 評議員会

年 月 日	回 数	内 容	備	考
令和3年6月中旬	第1回定時評議員会	令和2年度決算決議・事業報告		
		次期理事・監事選任		
令和3年12月中旬	第2回臨時評議員会	令和3年度補正予算決議		
令和4年3月中旬	第3回臨時評議員会	令和4年度予算決議・事業計画報告		

(3) 評議員選任 · 解任委員会

年	月	日	内 容
令和3	年6月	中旬	次期評議員の選任

2. 研修会参加等による役職員の資質向上

年 月 日	研 修 名	内 容	備考
令和3年6月中旬	社会福祉法人監事研修	指導監査説明会及び、	
		法人運営について	
令和3年 月未定	社会福祉法人経営者協議会	法人運営について	経営者協議会
	総会		
令和3年 月未定	社会福祉法人役員研修	法人運営について	島根県社会福祉協議会
令和4年 月未定	社会福祉法人経営者協議会研修会	法人運営について	島根県社会福祉協議会

- 3. 社会福祉法人の社会貢献事業、地域の福祉を増進することに努力する。
- 4. 介護予防事業に積極的に取組む。

令和3年度

特別養護老人ホーム梅里苑及び 短期入所生活介護事業所事業計画

事業の目的と運営方針

施設の理念	「あなたに似合うケアを一緒にみつけましょう」
事業の目的	個々のサービス計画に基づき、可能な限り居宅における生活への復帰を念頭に置いて、入浴・排泄・食事等の介護・相談及び援助、社会生活上の便宜の供与その他日常生活上の介護・機能訓練・健康管理及び療養上の介護を行うことにより、入居者がその有する能力に応じ個人の自立を尊重した日常生活を営むことができるよう、質の高いサービスを提供することを目的とします。 指定短期入所生活介護事業は、梅里苑を短期利用し必要な日常生活上のケア及び機能回復訓練等を受けることにより、利用者の心身の機能維持並びにその家族の身体的及び精神的負担の軽減を図り、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ個人の自立を尊重した日常生活が営むことができるよう、援助することを目的とします。
施設運営の方針	ま本的人権、尊厳を尊重した安心、安全な個別ケア ①身体拘束廃止、虐待防止、権利擁護に努めます。 ②入居者、家族等のニーズを把握し、同意の基に介護計画、支援計画を作成してより質の高いサービスを提供します。 ③入居者、家族等の個人情報(守秘義務)について適切に対応します。 ④医療、介護の連携の基に多様な医療ニーズに取り組み、日常の総合的な健康管理及び精神的ケアに努めます。 ⑤各関係諸機関との連携、強化を進め、各委員会を展開し業務内容の改善や質の向上に努めます。 ⑥年間研修計画を基に苑内外の研修を実施し、専門職としての自覚、自己研鑽に努め人材育成を図ります。 2. 介護保険サービスを中核としつつ、保健、福祉、医療及び地域住民活動と連携を図り、社会貢献に努めます。 ①施設機能の地域展開 ②苑内行事への地域住民参加 ③地域行事等へ参加、相互交流を図る ④実習、ボランティアの受け入れなど ⑤介護予防事業の実施

1. 令和3年度入居者、利用者の介護支援にあたっての基本的内容

一人ひとりの「個別的かつ計画的な支援」を継続することで、生活の可能性を広げ、生きることの充実 感を高めて行くことを目的としてサービス計画書を作成します。サービス担当者会議に、本人、家族に参加して頂き、想いに耳を傾け、その人らしく満足した日々を過ごして頂けるよう支援していきます。

アセスメント(事前評価)→プランニング(介護・支援立案)→介護・支援の実施(下記内容)→ モニタリング(介護、援助効果の見直し)→再アセスメント→プランニング(見直し 再計画)のサイクルを浸透することにより、質の高いサービスを目指します。

種	類	内容
		入居者、利用者の健康と栄養状態の維持を目的に、できるだけ個々の嗜好を反映さ
		せます。季節感のある食事作りと、ユニット調理で家庭の雰囲気を味わってもらい、
食 事		楽しく・おいしく且つ安全で衛生面に注意するとともに、暮らしの中心となる食事の
		提供に努めます。
	_	朝 食 7:30~ 昼 食 12:00~ 夕 食 18:00~
		◎行事食◎誕生会食(栄養ケアマネジメントへの取組み)
		入居者、利用者のプライバシーに配慮し、心身の状況に応じ個々に合った介護用品
排 泄		を随時検討し、適切な方法で介護させて頂きます。
		そして可能な限りトイレでの排泄ができるように自立支援に努めます。
		身体の清潔を保つことは、健康な生活を維持する上で大切な行為です。安心安全に
入浴•清拭		心身ともリラックスして頂けるように、またプライバシーに配慮し、希望に沿った入
		浴と清拭を実施し清潔を保ちます。
その他自立への		生活が豊かになるよう離床等により居室、リビング、セミパブリックスペースと行
支援		動範囲を広げ、リズムのある生活が提供できるよう努めます。
		入居者、利用者個々に合わせ、適切な整容が行われるよう援助します。
離床・着替え・整	容	シーツ交換は随時交換 寝具の消毒は随時(日光浴)
等		年1回布団乾燥・消毒 散髪は2ヶ月に1回、また希望があれば実施します。
口腔ケア	7	口腔内を清潔に保ち、感染の予防・食べることや話す楽しみを高めていきます。

相談及び援助	行政機関に対する手続きが必要な場合には、入居者及びご家族の状況によっては、
	代わりに行います。(要介護認定更新申請手続きの代行等)
地域との連携	家族、職員、地域とのより良い連携を築き、生活意欲の向上、情緒の安定を目的と
	して入居者、家族、地域住民とともに積極的に行事や諸活動を行います。
余暇活動	クラブ活動(音楽療法・習字・お経の会・絵手紙・いきいき活動)
	行事(別紙参照)・誕生会食・福寿会の実施・外出・ドライブ・買い物
	地域行事への参加等を積極的に行う(年間行事計画書)

機能訓練

理学療法士(月2回)機能訓練指導員(看護師)音楽療法士(月1回)による指導の もと、入居者、利用者の状況に適した機能訓練を行い、身体機能の低下を防止するよ う努めます。

日常生活での 機能訓練

自発的で楽しいリハビリテーションが行えるよう援助します。

理学療法 運動療法 作業療法 音楽療法

レクリエーション療法(遊びリテーション) クラブ活動

ROMの実施

健康管理

常に入居者、利用者の健康の状態に注意し、必要に応じて健康保持のための 適切な対応をとります。そして医師(嘱託医)は、その行った健康管理に関し健 康手帳に必要な事項を記載します。健康手帳を有しない入居者に対しては、カ ルテにわかるように記録します。

コミュニケーションを密接にして、注意深い観察による心身の異常の発見・ 事故防止・残存機能の活用と維持に心がけ、心身ともにさわやかな生活が送れ るよう援助します。

嘱託医4名による月1回~2回、又必要に応じて、回診して健康管理をします。

緊急時必要な場合に主治医あるいは協力病院・他の医療機関医師との密接な連携を保ち、責任を持って引継ぎます。

入居者が外部の医療機関に通院する場合は、その介添えについてできるだけ 配慮します。

入居者全員に嘱託医と平成記念病院による健康診断を実施し、疾病の早期発 見と予防に努めます。

胸部レントゲン撮影(年1回)…検診車利用(バリアフリー型デジタル結核検診車) 体重測定 血圧測定 検温

採血 採尿 (担当医師の指示がある場合)

内服薬は院外処方へ

新型コロナウィルスワクチン・インフルエンザ予防接種の実施

夜間緊急医療については、看護師の緊急出動にて万一の場合に備えます。 (マニュアル作成参照)

感染症の入居者、利用者については医師と連携しながら対応します。 (マニュアル作成参照)

看取りケアは、本人・家族の希望があれば施設での看取りケアも行います。 安らかな死を住み慣れた自分の部屋で、その人らしく迎えられるよう家族や嘱 託医、他の職員と協力して援助します。

歯科は随時診療

権利擁護

① 人権擁護

- ・職員は「人権を保障すること」を基本とし、守秘義務を厳守し、入居者の権 利擁護に努めます。
- ・ 自由、人権、プライバシーの保護を守り、様々な疑問、不安の解消に努めます。

虐待防止

- ② 虐待防止
- ・入居者を虐待という権利侵害から守り、尊厳を保持しながら安定した生活を 送ることができるよう笑顔、挨拶を大切にして介護します。

苦情の対応

- ③ 苦情
- ・苦情解決責任者・苦情受付担当者・第三者委員を設置し、適切に対応し苦情 解決に努めます。(苦情処理実施要綱)
- ・第三者委員会を定期的に開催し、状況の報告を行います。

家族との連携

- ④ 家族との連携
- ・入居者がより良い生活が送れるよう、本人または家族の相談に応じます。
- ・相談の内容を検討して適切に対応し援助します。(入居者、家族の介護に対する意向や要望を確認し、施設サービス計画書に明記することもあります。)
- ・入居者の生活状況、身体状態等の情報連絡、説明を行い家族と連携を深めま す。
- ・年2回の家族会で制度改正、施設の状況等説明し、施設運営の理解を図り、 意見交換をします。
- ・苑便りを年2回発行し、苑生活の紹介や情報提供をします。

2. 令和3年度その他取り組み計画

各職種の基本的業務については、事務分掌において別に定めます。

- ① 入居者、利用者の人権を尊重し、一人一人の個別サービスの更なる充実を目指す取り組みをします。
- ② 各種マニュアル関係綴りを閲覧、周知することで基礎技術、知識を再確認しつつ自己研鑚します。
- ③ 8ユニットにリーダーを配置し、各職域と情報共有、連携をとりより豊かな生活へ繋げます。 個別介護サービスの更なる充実と、地域から信頼される施設づくりを目指して委員会を設置し 各委員会の実施要綱に基づき実施します。

1. 新聞委員会

家族、地域へ苑の広報紙を発刊します。入居者の生活の様子と事業報告等を主に、紙面構成の 立案、検討を行い、内容の充実を図ります。

- ・年2回(7月・1月)うめのさと発刊 ホームページの更新(随時)
- 2. 地域交流委員会

住み慣れた地域との関係を継続し、地域行事への参加や奉仕活動に取り組むことにより、入居者に地域で暮らすことや四季を感じてもらえるように支援します。また介護予防事業に取組中、入居者も参加します。

- ・ボランティア活動の受け入れ及び参加することで、地域の方との繋がりを広めます。
- ・多目的ホールの開放と活用を働きかけます。(絵手紙の会・作品展示会等)

3. 排泄委員会

排泄介助は入居者にとって精神的影響が大きく、最もデリケートな部分であることを意識し、

プライバシーに配慮して援助することを基本姿勢として取り組みます。

- 「できるならトイレで排泄がしたい」個々の状態に配慮しながら実現します。
- ・他職域間で連携しながら、排便ケアについて検討し取り組みます。
- ・使用物品を随時検討しながら、個々の状態に合った排泄援助・勉強会をします。

4. 身体拘束廃止委員会

入居者の立場に立ち、人権を尊重、保障しつつ介護を行うことを基本として、身体拘束は行わない方針で取り組みます。

身体拘束をやむを得ず行う場合は、マニュアルに基づいて委員を中心にユニットで見直し検討 を行い

身体拘束廃止に向けて取り組みます。

5. リスクマネジメント委員会

介護事故に対する安全管理体制を強化しマニュアルに基づき事故防止に取り組みます。

事故が発生した場合や事故に繋がるおそれのあるヒヤリハットの報告内容をもとに事故の要因 分析、改善策の立案、実践評価を行い再発防止に繋げます。

- ・内服間違いの軽減に努めます。
- ・入居者個々のリスクを明確化し、事故防止に努めます。
- ・毎月ユニット毎に集計、検討会を行い、再発防止に努めます。
- ・福祉用具の点検、危険箇所の点検、環境整備などを定期的に行い事故防止に努めます。
- 6. 褥瘡·感染症予防委員会
 - ・「褥瘡をつくらない」との意識を高め、褥瘡対策対応マニュアルに基づき褥瘡予防に取り組み、発生時には各職域間で連携し、悪化の予防と改善に努めます。
 - ・看護主任を責任者として、感染症対策マニュアルに基づき、新型コロナウィルス、食中毒、ノロウイルス、インフルエンザ等の感染症予防対策を検討し、苑全体の周知徹底に努めます。
 - ・職員の健康管理の問題も含め、安全衛生委員会と連携をとります。 (定期健康診断・検便・腰痛対策・インフルエンザ予防接種・産業医による指導)

7. 研修委員会

専門職としての自覚を持ち、職務の力量を高め、知識、技術の習得と、接遇の向上に向けて年間研修計画を立て自己研鑽に努めます。

- ・外部研修に参加し伝達研修をする。
- ・講師を招いての勉強会と、希望の苑外研修会に積極的に参加する。
- ・各職域別に接遇目標を設定し取り組みます。
- ・自主勉強会を行い、自己研鑽に努めます。
- 8. 労働安全衛生委員会
 - 衛生管理体制の整備
 - 健康診断の実施
 - ・過重労働による健康障害の予防
 - 労働災害の防止(腰痛予防)
 - ・ストレスチェックの実施
- 9. 医療的ケア対策推進委員会
 - ・看護職員と介護職員の連携による医療的ケアの実施にあたり、入居者個々の状況に応じて医療 的ケア

を安全にするように体制整備をします。

3. 諸会議の実施

施設内の基本方針や企画についての協議、研修報告、施設全般にわたるサービス向上に向けた取り組み等の会議を開催します。

諸会議及び研修計画

介護給付以外のサービス

目的

地域社会の中に位置する施設として、機能開放に積極的に取り組み、居宅の高齢者及び障害者が 地域社会や家庭で、可能な限り自立した日常生活が営めるように援助していきます。そのために 利用者の家族や地域社会の状況を把握して、総合的なサービスを提供していきます。関係市町 村・居宅介護支援事業者・居宅サービス事業者、その他地域の保険医療福祉サービスと密接な連 携をとりながら利用者のニーズに対応します。

内容

- 1. 介護者教室、介護相談、日常生活自立支援、介護予防事業、栄養相談(アドバイス・商品紹介)など希望があれば対応します。(無料)
- 2. 高齢者料理教室 食の面から高齢者の方々が心身ともに健康で生き生きと過ごしていくため のお手伝いをさせて頂きます。

男性独居者・老人クラブあるいは介護食作り等対象・内容・人数等は相談に応じます。

3. 入浴サービス 居宅でお風呂に入ることが困難な方(座位不可能・四肢拘縮等)相談に応じて実施します。

希望があれば送迎・整容は行います。家族の同意と医師の指示が必要です。(1,500円)

- 4. 介護用品斡旋
- 5. 介護用品貸し出し
- 6. 輸送車貸し出し 以上介護保険事業としては不可能ですが、希望があり必要とされる方があれば積極的に取り 組みます。

防災管理

防火対策・・・入居者、利用者は災害弱者であり、非常災害が発生した場合は避難誘導が特に必要 である。従って梅里苑災害対策要綱を設定し、定期的に避難誘導訓練を実施し、非 常災害に備えると共に地域住民との協力体制強化を図る。

- ※避難訓練・・・年2回以上。
- ※通報訓練・・・年2回以上。
- ※消火訓練・・・年2回の避難訓練に併せ実施。
- ※防火管理委員会・・・年2回防火管理委員会を設ける。
- ※土砂災害避難訓練・・・6月までに実施。

火災予防・・・・ 梅里苑消防計画に基づいて万全を期する。(消防計画は別にあり)

土砂災害対策 ・・・ 土砂災害避難確保計画に基づき万全を期する。

原子力災害対策・・・ 「原子力災害にかかる避難計画」のガイドラインに基づき対応する。

非常時組織編成・・・・消防隊本部長を苑長とし、消防計画に基づいて組織編成を行う。

連絡・召集・報告・・・ 災害発生又は発生の恐れがある場合は、速やかに関係者及び関係機関に 連絡すると共に職員非常召集伝達系統図(別紙参照)により召集する。

消防設備点検・・・ 年2回消防設備点検を実施(業者委託)。自主点検は防火管理者が行う。

特殊建築物定期調査・・・ 3年に1回特殊建築物定期調査を実施する。(業者委託)

予防査察・消防訓練・・・・ 消防機関との連携については消防計画による。

その他 ・・・ 災害弱者である入居者、利用者が安心して生活が送れる様、消防設備等の前に障害

物を置かない等の配慮を常に職員全員に徹底する。

夜勤帯の責任者

- ・夜勤責任者は各ユニットの状況を把握し、特変時の対応、連絡を行う。
- ・夜勤帯に特変があれば、各ユニット勤務者は責任者に連絡する。
- 外線は17:30から8:00まで夜勤責任者が対応する。

7和3年	度				ź	F間行事計画	Ē					
		(日:	本の文化を:	大切にする	ことで四季を	を感じ、暮ら	らしを肌で原	蒸じ取ること	ヹが出来る。	生活の継続	徒性)	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	花見ドライブ	運動会		法話会	納涼会	長寿祭			クリスマス	新年会		
				花火鑑賞	追悼法要				忘年会	白寿米寿祝		
行 事									餅つき	天満宮参拝		
行 事		土砂災害避難訓練			避難訓練							避難訓練
争	訪問販売	訪問販売	訪問販売	訪問販売	訪問販売	訪問販売	訪問販売	訪問販売	訪問販売	訪問販売	訪問販売	訪問販売
			菖蒲湯	七夕		敬老会			柚子湯		節分	雛祭り
ユニ	ット活動	۲	ライブ・買	い物・地域	行事への参加	ロ・喫茶会	・誕生会・記	間理・ユニッ	ット交流等を	各ユニット	で計画し実	手施
						お経の会						お経の会
	絵手紙		絵手紙		絵手紙	V-12 : 21	絵手紙		絵手紙		絵手紙	
		習字		習字		習字		習字		習字		習字
	音楽療法	音楽療法	音楽療法	音楽療法	音楽療法	音楽療法	音楽療法	音楽療法	音楽療法	音楽療法	音楽療法	音楽療法
いきし	いき活動	ポ	ランティア	等による余	興等を随時	受け入れ実	施					
				民生委員	一宮自主連合会				一宮自主連合会			
-1 2									三刀屋金属			
ボ ラ												
ک	定期ボラン	ティア										
テ		三刀屋理容	師組合		竹部八重子	(生け花)		菅野明 (習	字クラブ)			
イア		善徳寺仏教	婦人会		槻谷金保	(写真)		中田明香((音楽療法)			
,		三刀屋絵手絲	氏の会(絵手組	紙クラブ)	三刀屋高校	JRC						
	=======================================	=======================================	=======================================	=======================================	=17 (L et al.	=======================================	=======================================	=======================================	=======================================	=======================================	=======================================	=17 (1. +
家	誕生案内	誕生案内	誕生案内	誕生案内	誕生案内	誕生案内	誕生案内	誕生案内	誕生案内	誕生案内	誕生案内	誕生案内
家 族	誕生会食	誕生会食	誕生会食	誕生会食	誕生会食	誕生会食	誕生会食	誕生会食	誕生会食	誕生会食	誕生会食	誕生会1
加 域		家族会				家族会						
	運動会案内			追悼法要案内	長寿祭案内					340+1.m/		
/ ÷r =1 —	<u>」</u> ロナウィルス	7 A SV H-11 Y Y	<u> </u>	うめのさと発行			l		l	うめのさと発行	l	L

諸会議・研修														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	記録	 対象
	47	37	0,7	7.73	07	эл	103	11/3	127	173	事業計画	37	記述	刈水
職員会議	事業報告						0				•		有	全職員
リーダー会議											(案)			苑長·課長
, ,	かる田士	かる田士	かる田士	かる田士	<i>~</i> ~ ₄ `⊞ ±	<i>~</i> ~ ₄ `⊞ 土	~~ a \Π -L	~~ α`⊞ <u></u>	かる田士	<i>~</i> ~ ₄ `⊞ ±	<i>₩</i> 4 'B ±	~~ a`⊞ ±	_	
給食委員会	弗4週个	第4週木	第4週木	弗4週本	弗4週个	第4週木	弗4週个	弗4週个	弗4週本	弗4週本	第4週木	弗4週个	有	各主任
労働安全衛生委員会														ユニットリーダー
医療的ケア対策推進委員会		第4週木		第4週木		第4週木		第4週木		第4週木		第4週木		厨房•栄養士
合同ミーティング	毎週月	毎週月	毎週月	毎週月	毎週月	毎週月	毎週月	毎週月	毎週月	毎週月	毎週月	毎週月	有	各職域代表
ユニット会議						随	時						有	主任·介護員
4 C240V*A*					T-6	D # L=	> ±	ı D±n+					有	各担当者
サービス担当者会議		モニタリング・ケアプラン見直し随時												入所者·家族
たま中にそりへ	運動会		法話会	納涼会	長寿祭			クリスマス	新年会			花見会	有	担当者
行事実行委員会								忘年会・餅つき	白寿米寿祝					入所者代表
地域交流委員会		•		•		随時(第	1週月)	•	•		•		有	各委員
新聞委員会		第2週水	第2週水	新聞発行				第2週水	第2週水	新聞発行			有	各委員
排泄委員会		第1週水			第1週水			第1週水			第1週水		有	各委員
褥瘡·感染症予防	第2週月			第2週月			第2週月			第2週月			有	各委員
対策委員会	第4週月			第4週月			第4週月			第4週月			Ħ	百女貝
身体拘束廃止委員会		第4週木			第4週木			第4週木			第4週木		有	各委員
リスクマネジメント委員会	第4週木	第4週木	第4週木	第4週木	第4週木	第4週木	第4週木	第4週木	第4週木	第4週木	第4週木	第4週木	有	各委員
研修委員会		第1週月			第1週月			第1週月			第1週月		有	各委員
スキルアップ研修会	0	0	0	0	0	0	0	0	0				有	全職員
苑外研修	随時											有	全職員	
入所判定委員会	入所については公平・透明性を持つことを目的とし実施											有	各委員	
第三者委員会	定期的に開催し状況報告												有	担当委員
※適切なサービス提供	に向けた	自立計画、	情報開示	に努めて	いきます。									

					令和3年	度 スキ	ルアップ研	修会日程	表(計画3	E) **	月前半				
				令和3年									令和4年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		事業計画	苑外研修 報告会	事業報告	感染予防	褥瘡予防	事 生、発 発 所 に 研 を る の の の の の の の の の の の の の の の の の の	人権身体拘束	メンタルへ ルスケア	認知症ケ アに関す る研修	看取りケア	緊急時の 対応に関 する研修 (医療)	苑外研 修報告 (予備)	事業計画	苑外研修報告 (予備)
講師						※ #	#師の依賴	iをしたり、	職員が講	師を行う					
			:	1	:		1	※月後半		1	:			1	
				令和3年									令和4年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				(新人研 修)	腰痛予防	看取りケア	接遇に関する研修	非常災害時の対応に関する研修	褥瘡予防	事故発 生、再発 防止に関 する研修	感染予防	人権身体拘束	ケアプラン について	苑外研修 報告(予備)	苑外研修 報告(予備)
						*	随時苑外	研修参加	者の報告	£					1
					f	和3年度	スキルフ	ツブ研修	会日程表	事業計画	Ī		1		
			ı		ı	令和 T]3年 T	ı		1	ı			令和4年	<u> </u>
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月前半		事業計画		事業報告	感染予防	褥瘡予防	事故発生、再発 防止に関する 研修		メンタルヘルス ケア	要痛予防	看取りケア	緊急時の対 応に関する 研修(医療)	苑外研修報 告(予備)	事業計画	苑外研修報告 (予備)
講師					<u> </u>	<u> </u>	随用	 - - -	<u> </u> する	<u> </u>	<u> </u>				
月後半				ケアプラン について	食品衛生について	看取りケア	接通に関する研修	非常災害時の対応に関する研修	褥瘡予防	事故発生、再発 防止に関する 研修	感染予防	人権身体拘束	認知症に関する研修	苑外研修報 告(予備)	苑外研修報告 (予備)
					ļ.		※随時苑	外研修参加书	者の報告会	1	!	1			
講師						講	師の依頼を	したり、職力	員が講師を	行う					